

まつやまNPOサポートセンターの情報誌

サポセンだより



2～4P NPOを応援する「松山市市民活動推進基金」のご紹介

市民活動団体をサポートする、松山市の基金事業についてご紹介します。

5 P 平成28年度「市民活動推進事業補助」採択団体が決定！

今年度、市民活動推進補助事業に採択された団体名と事業内容を公開します。

6 P NPO登録団体の検索ページ「NPOヒロバ」をご活用ください。

松山市NPO登録団体の情報が検索できる、データベースのご紹介です。

7 P 「特定非営利活動促進法」改正！～何がどう変わるのか？

今年6月に成立した「特定非営利活動促進法」改正案について解説します。

8 P おしらせコーナー



【発行】

まつやまNPO
サポートセンター

特集

NPOを応援する「松山市市民活動推進基金」のご紹介

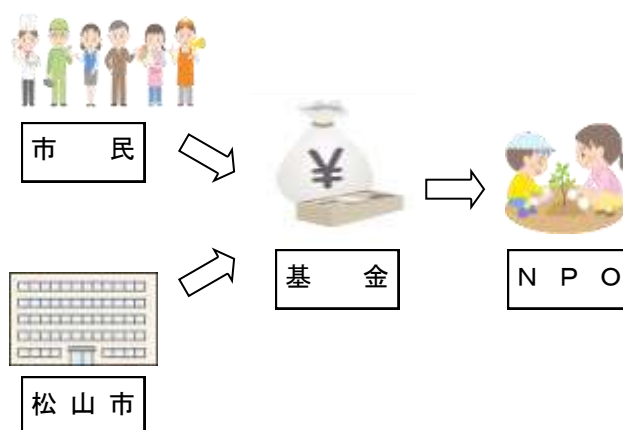
松山市では平成17年度から、本市における市民活動の推進を図るため、「市民活動推進基金」を設置しています。この基金は、18年度からNPOに対する活動の助成金として支出されており、今年で11年目を迎えています。今回、基金と、それを活用した事業について特集しました。

1. 市民活動推進基金のしくみ

● 市民と松山市がともに基金を拠出

「市民活動推進基金」は、松山市における市民活動の発展を図る「松山市市民活動推進条例」に基づき、平成17年度から募集が始まりました。

個人や団体、企業などに寄付を募り、集まった金額と同額を市が拠出する「マッチングギフト」方式がとられており、市民と行政が協力して、本基金は運用されています。



● 累計3000万円以上が寄付される

平成17年の運用開始以来、今までに累計3000万円以上の寄付が市民から寄せられています。件数は個人163件、団体・法人539件となっており、27年度は合計124件と多くの方が寄付を行っています。

年度	個人	団体・法人	合 計
25	166,000円	3,396,700円	3,562,700円
26	53,000円	2,126,000円	2,179,000円
27	138,000円	2,489,000円	2,627,000円

直近3年間で寄せられた寄付金額

● 148団体約4200万円の補助実績

本基金を活用した「市民活動推進事業補助」では、平成18年の募集開始から、これまでに148団体、金額にして約4200万円を、市民活動団体に交付してきました。

1団体あたりの平均額は約28万3000円。補助への応募件数は、年々増加傾向になっています。

年度	応募件数	採択件数	補助金額
25	22件	16件	4,873,000円
26	21件	17件	4,795,000円
27	25件	18件	4,355,000円

直近3年間の応募数、採択数と金額

2. 平成27年度に補助を受けた活動の例

● 平成27年度の状況

平成27年度は、「立ち上がり支援」(設立3年未満が対象)が16件応募中10件採択、「成熟促進支援」(3年以上が対象)が9件応募中8件採択となり、約440万円が補助されました。ここでは、補助金を活用してどのような事業が行われたのか、いくつかご紹介します。

● 泊きずなグループ「ビューティフルご島作り」

興居島の美化、島民同士の助け合い活動を行う「泊きずなグループ」では、中学校駅伝の開催に向けた美化活動の一環として、パンジーのプランターや野路菊の植栽活動を実施しました。

また、独居生活の高齢者と島の学校に通う児童がサツマイモ料理を作って交流する親睦会も開催。学校他、地域の様々な機関と協働して、地域の絆づくりに取り組みました。



興居島での交流の様子

● ピアリンクinえひめ「市民向け啓発媒体配布事業」

若者向けに命を授かる・育むことの健全な知識を啓発する「ピアリンクinえひめ」は、主に10代を対象とした「自分の体と心を守りながら人を好きになる」ことについての啓発パンフレットを約4000部製作しました。

制作したパンフレットは、大学や保健所、市内児童館、公民館等の公共施設で配布し、若年層への啓発に取り組みました。



恋ってなあに？パンフ

● タンデム自転車NONちゃん倶楽部「心のバリアフリー社会の実現 in 競輪場」

障害者が自転車などのスポーツを通じて、活動的な日々を送ることを推進する「タンデム自転車NONちゃん倶楽部」では、松山市や自転車振興会等の協力を得て、競輪場での2人乗り自転車体験会を実施しました。

当日は参加者・スタッフ併せて約200名が参加し、全力でスポーツを楽しむことを通じて、障害者が外に出る喜びを実感できる機会を設けました。



自転車で快走中！

3. 「次世代育成支援」枠が平成28年からスタート

● 児童・生徒・学生を対象とした新しい補助制度

市民活動推進事業補助では、平成28年度募集から、新しく「次世代育成支援」枠がスタートしています。これは、若者がアイデアを出し、自ら行動するまちづくり活動を市が応援するしくみで、市内の小学生から大学生などの若者グループが対象となっています。

6月19日(日)には、公開プレゼンテーション審査が行われました。審査は、市民活動推進委員が行い、野志市長や同世代の若者の代表も質疑等に参加し、応募者の企画提案に熱心に耳を傾けていました。

なお、今年度は、「松原泉のホタルを守る会」、「チーム鴨川」、「防災リーダークラブ」、「東雲オレンジクラブ」、「愛媛学生演劇祭実行委員会ORANGE」、「えひめBBS学生連合」が採択されました。

今後、これからの「若者によるまちづくり活動」の振興が期待できるといえるでしょう。



4. 「寄付金をしたいな」と思ったら…

● 「寄付申込書」を市民参画まちづくり課へ

市民活動推進基金は、マッチングギフトという性質上、市民からの寄付が集まらなければ、市の拠出金も少なくなってしまうため、毎年500万円程度が予算(議会承認後)としてあてられているため、250万円以上の寄付がなければ、基金を取り崩して補助事業を行わなければなりません。そこで市民参画まちづくり課では、皆様からのご寄付をお願いしています。

寄付の申込書は、市民参画まちづくり課窓口及びホームページで配布されています。まずはそれに必要事項を記入の上、市民参画まちづくり課へお届けください。

● 市への寄付は「寄付金控除」の対象になります

寄付申込書を市に送付すると、後日、振込用紙が郵送されてきますので、金融機関等で振込の手続きを行います。なお、このとき手数料はかかりません。

市民活動推進基金に一定額以上の寄付を行うと、それは寄付金控除の対象になります。個人の場合は、翌年に納付する住民税等が控除されるため、社会にいいことをして節税ができる、というしくみになっているのです(ただし、確定申告を行わなければなりません)のでご注意ください。



ニュース

平成28年度「市民活動推進事業補助」採択団体決定！

平成28年5月27日（立ち上がり支援、成熟促進支援）に審査会が行われ、今年度の補助団体として下記の団体が採択されました。補助金交付予定額は、486万9000円となりました。

● 立ち上がり支援(11団体)

団体名	事業名
NPO法人 アン・ディ・ムジーク愛媛	松山音楽文化活性化計画～音楽からの贈り物を受け取ろう2016～
NPOイヌネコライフネットワークえひめ	守ろう小さな命・繋ごう小さな命～人にも犬猫にも優しい街づくり～
いらだ連	愛媛県立しげのぶ特別支援学校の子供達と「松山NPOチーム」で第51回松山まつりサンバの部に出よう！
NPO法人 NEXT CONEXION	こどもタウン「こどもが創るまち・よのなか」事業
NPO法人 SHARE LIFE DESIGN	日本文化の紹介と相互理解「Co-Learning ～Japanese Culture～」
えひめ足の健康さぽーと倶楽部	足の健康促進計画
コッコロ	三津浜・宮前地区から参加型音楽イベントを通じての三世代間交流事業
NPO plaisir	親子音楽サロン
セカンドライフエンジョイグループ『キャサリン・ラビット』	チアダンスの親子三世代交流により松山にたくさんの幸せな笑顔を振りまく事業
NPO法人こころ	日本一幸せな町をつくる、映画会及び講演会の開催（障害者理解の啓発）
快適空間創りNPO	シニア世代の快適空間づくり講座&子世代向けワークショップ

● 成熟促進支援(5団体)

団体名	事業名
NPOえひめセラピードッグの会	セラピードッグによる施設訪問、学校訪問、ふれあう会、訓練会の開催
JDDネット愛媛 (日本発達障害ネットワーク愛媛)	発達障害県内ネットワーク支援事業
認定特定非営利活動法人 国際地雷処理・地域復興支援の会	カンボジアでの地雷処理活動・地域復興支援活動に関する活動報告や平和構築に関する講演会の開催
松山友の会	おさなごひろばin松山
NPO法人えひめ311	災害に関する講演会やワークショップ、防災交流イベント等開催事業

NPO登録団体の検索ページ「NPOヒロバ」をご活用ください

まつやまNPOサポートセンターでは、日本NPOセンター(東京都)の協力を得て、この度、松山市NPO登録団体の情報検索システムをホームページ内に設置しました。透明性の高い運営を目指し、情報公開を行うNPOの情報を得ることができますので、どうぞご活用ください。

● NPOヒロバでは、何が分かるの？

NPOヒロバでは、団体の基礎情報(団体名、所在地、代表者名、電話番号…)と、会則や定款、直近の事業報告書などを見ることができるほか、団体から寄せられた様々な情報(ボランティア募集情報等)を見ることができます。

従来、NPO法人に関しては愛媛県や内閣府で情報の公開が行われてきましたが、このNPOヒロバでは、松山市NPO登録をし、市による情報公開に同意した任意団体についても知ることができます。



● 「更新が大変そう…」な団体でも安心

NPOヒロバでは、登録団体が自分たちでデータを更新することができます。また、登録時には空欄のままとなっているデータも多くありますから、市民に向けてPRをしたい団体は、積極的な情報発信にも使うことができます。

ですが、こうしたデータベースの更新は、なかなか手間がかかりおっくうになりがちです。そこでまつやまNPOサポートセンターでは、団体からの委任状を頂ければ、データ入力を代行するようにしました。また、NPO登録の諸手続きを行うと、センター側で対応するようにもしておりますので、安心してご利用いただけます。



● センターロビーにも情報コーナーがあります

パソコンが苦手な方には、コムズ1階にあるセンターロビーに、団体情報ファイルのコーナーを用意しております。こちらには、NPO登録団体の基礎データのほか、団体が主催した事業のチラシや会報誌などのデータがファイリングされており、必要な方にはコピーをしてお渡ししております。

こちらもどうぞ、お気軽にご利用ください。



ニュース

特定非営利活動促進法改正！～何がどう変わるのか？

6月1日、参議院本会議において、NPO法（特定非営利活動促進法）の改正が全会一致で採択されました。これにより、NPO法人の運営等がどう変わるのかについて解説します。

● 設立時の申請書縦覧期間が、2か月から1か月に短縮（公布から1年以内）

NPO法人を設立する際、申請書の縦覧期間（市民によるチェック期間）が1か月短縮します。これにより、従来は3～4か月かかっていた申請から認証までの期間が、2～3か月程度になります。また、縦覧をインターネットでも行えるようになります。

● 資産の総額の登記が不要になる（公布から2年6か月以内）

NPO法人は現在、年度末時点の資産総額に変動があった場合、その額を登記しなければならないとされています。今回の改正では、この登記を不要にし、代わりに「貸借対照表の公告」を義務付けるようにされています。ただし、この公告についての具体的な運用方法はまだ決まっておらず、公布から2年6か月後に施行されることとなっています。

● 事業報告書等の保存期間が5年に延長（公布から1年以内）

現在、事業報告書等の保存期間は3年と定められています。それが5年に延長されます。

● 認定NPO法人に関する変更もあります（公布から1年以内）

認定NPO法人の運用も、以下のように変わります。

- ① 海外への送金を行う場合に所轄庁へ提出する書類が、事前提出から事後報告に
- ② 役員報酬規程等の備え置き期間が5年に延長
- ③ 「仮認定」を「特例認定」に読み替え

今回の改正で最も影響が大きいのが、「資産の総額登記が不要になり、貸借対照表の公告の義務化される」ことではないでしょうか。センターでも今後、慎重に情報を集めて、皆さんがどう対応すればよいのかをお知らせしていきます。



お知らせコーナー

【センターの講座・イベント情報】

日 時・会 場	講 座・イベント名	内 容
7/9(土) 13時半～16時 コムズ4F視聴覚室A	【市民活動担い手講座】 基礎から学べる チラシづくり実践講座	<u>基本を押さえて、結果を出す！</u> チラシづくりの基礎知識と実践的に学ぶワークショップを行います。人の心に寄り添うデザインを創造する、デザイン事務所「Lab-Art」星野克幸さんのアドバイスを受けながら実践的に学びます。 【参加費】無料 【定員】30名 1グループ3名まで
7/23(土) 13時半～16時 コムズ3F会議室2	【NPOの設立講座】 アート・創作活動NPOのはじめかた講座	<u>文化・創作活動分野のNPOをはじめるには？！</u> 演劇、クラフト、文化振興、創作活動分野のNPOをはじめるにはどうすればいいの？にお答えします。ゲストに「NPO法人シアターネットワークえひめ」の鈴木美恵子さんをお迎えし、団体設立の事例をお話いただきます。 【参加費】無料 【定員】20名
8/27(土) 13時半～16時 コムズ3F会議室2	【市民活動担い手講座】 あなたにもできる NPOの支援者づくり講座	<u>「パンフレットづくり」で支援者を集める方法を公開。</u> 資金面、技術面で支援者を集めることは、NPOの永遠の課題。今回は、パンフレットに協賛広告を載せて頂くことで支援者を増やす方法を、「タンデム自転車NONちゃん倶楽部」の津賀薫さんにお話いただきます。 【参加費】無料 【定員】20名 1グループ3名まで

● 夏の活動は食中毒にご注意！

夏になると、戸外での活動や、夜市などのイベントで飲食を提供する機会が増えるのではないのでしょうか。夏は食べ物が腐りやすく、食中毒のリスクが高くなりますのでご注意ください。①調理をする人の清潔な身だしなみ、②調理道具はよく洗いきれいにする、③作った食事の温度等を管理する、の3つがポイントです。食中毒に気を付けて、楽しいイベントにしてください！

お問い合わせは まつやまNPOサポートセンターまで

☎ 790-0003 松山市三番町6丁目4-20 コムズ内

Tel: 089-943-5790

Fax: 089-943-5796

Eメール: pico@npocoms.or.jp



まつやまNPO

検 索